



寺島中だより

教育目標

「深く考え自ら学ぶ生徒」「心豊かで思いやりのある生徒」「健やかでたくましい生徒」



『花火 勇気と元気』

◆早いもので令和5年度がスタートして三ヶ月が過ぎ、いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みがまもなくやってきます。この三ヶ月間の生徒達の学習や学校行事に向かう姿勢、登下校の様子等から、確実に成長していることがうかがえます。

夏休み中は宿題や部活動、三者面談や水泳教室、補習教室等がありますが、夏休みだからこそチャレンジできることもあることと思います。健康で安全に、充実した夏休みをお過ごしください。



◆夏の夜空のきれいな花と言えば、「花火」です。新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となっていた各地の花火大会も、今年は無事復活するそうです。『隅田川花火大会』も、2019年以降4年ぶりに、7月29日(土)午後7時から開催され、約20,000発の花火が打ち上げられ夜空を彩ります。当日を楽しみにしている方々も多いことと思います。

「花火」は、中国で煙を使って、離れたところにいる人に情報を伝えていた「のろし」が始まりだという説があります。そしていつの間にか、「情報を伝えるもの」から「見て楽しむもの」に変わり、現在の「花火」になったようです。ある花火職人の方にインタビューがありました。「なぜ、花火職人をしているのですか」に対し、「打ち上げた花火を見てもらうことで、人々に勇気や元気を与えたい」と答えていました。一瞬ですが、夜空にきれいに咲く花火を見てもらうことで、見た人々に勇気や元気を与えることができたなら、とてもうれしい気持ちになるそうです。

友達等、他の人に勇気や元気をあげるためには、どうしたらいいのでしょうか。自分自身の言葉や行動が、他の人に勇気や元気を与えることができたなら、とても嬉しいことだと思います。「花火」は目に見える時間は短いですが、見た人の心の中でずっと咲き続けています。私たちが他の人に与える勇気や元気も、ずっとその人の心に残り、輝き続けていることと思います。勇気付ける言葉や元気を与える関わりを、心掛けていきたいですね。



◆2年生、移動教室に行ってきました！！

6月7日～9日の3日間、2年生は移動教室として新潟県南魚沼市に行き、農村体験に行ってきました。出発日の朝に雨が少し降り心配しましたが、その後は晴れや曇りの天気。体験活動中は少し汗ばむ位の暖かさでもありました。ラッキーな天候の中で、生徒たちは予定されていた行程を全て行い、楽しそうに活動をしていました。

生徒たちは、豚汁作りと田植え体験の後、16の宿泊施設に分かれ、それぞれの宿ごとのプログラムに沿った農村体験をしてきました。畑仕事や山菜採りなど、日頃体験できないことに取り組んでいました。各宿の食事もおいしく、特に「南魚沼産こしひかり」のお米の味は絶品だったようです。一人一人の生徒が充実した3日間を過ごすことができました。宿のオーナー様からも、「とてもよい子達だね」、「よく働くね」、「ずっとここにいて欲しいね」などの言葉をいただきました。

この行事が無事に終了できたことに、ほっと一安心しております。今回の活動で得た成果を、是非とも今後の学校生活に生かし、後輩達の手本となる行動を沢山見せて欲しいと願っています。

